

2024年3月6日、富山市「ゴルフアートとやま」において、富山県薬業連合会品質保証委員会（富山薬連）／全国配置薬協会（全配協）と日薬連品質委員会（日薬連）から40名を超える参加者が出席し、情報交換会が開催されました。

1月に発生した能登半島地震の影響で一時開催が危ぶまれましたが、被災地を支援することを加味し、富山薬連事務局のご尽力を賜り実現されました。

以下の概要を報告します。

◎日薬連品質委員会活動について（品質委員長）

日薬連品質委員会の概略として、沿革（本年50周年）、構成団体、主要業務の紹介後、最近の活動について、以下の項目が報告されました。

1. 品質確保に向けた実効的な対策検討のための会
2. 医薬品GQP・GMP研究会
3. 法規制合理化検討プロジェクト
4. GMP事例集改訂（追補）検討
5. 厚生労働科学研究関係
6. ニトロソアミンWT
7. 法改正要望に向けて
8. その他

◎富山薬連品質保証委員会の活動（品質保証委員長）

富山薬連の概略・組織体制、品質保証委員会設立の経緯の紹介後、委員会で行っている5つの取り組みについて、報告されました。

1. 品質保証体制の強化
2. クオリティカルチャーの醸成
3. 研修の継続と充実
4. 教育訓練の推進
5. 情報発信力の強化

特に、「くすりの富山」の信頼回復のため、多数の講演会や研修会の企画・運営、企業の壁を取り除き各社で採用された新人や若手社員を集めての基礎研修の実施など、意欲的な取り組みに感銘を受けました。

◎全国配置薬協会の取り組みについて（全配協事務局）

全配協の沿革、組織体制、医薬品配置販売業の概略、「医薬品の販売制度に関する検討会」への対応などが紹介されました。

各報告後には質疑応答が行われ、久しぶりに対面で実施された情報交換会は盛況に終了しました。その後の交流会でも、参加者の連携を深める有意義な機会となりました。